



地上デジタル  
ハイビジョン  
レコーダ/チューナー

ハイビジョンROKURAKU *Slim* NEO ネオ G

## Gシリーズ・取扱説明書

1. NEO-Gシリーズのグループ機能
2. 協調同時録画機能 (グループ機能1)
3. ディスク共有機能 (グループ機能2)
4. ミラーディスク機能 (グループ機能3)



株式会社 日本デジタル家電

# Gシリーズ機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

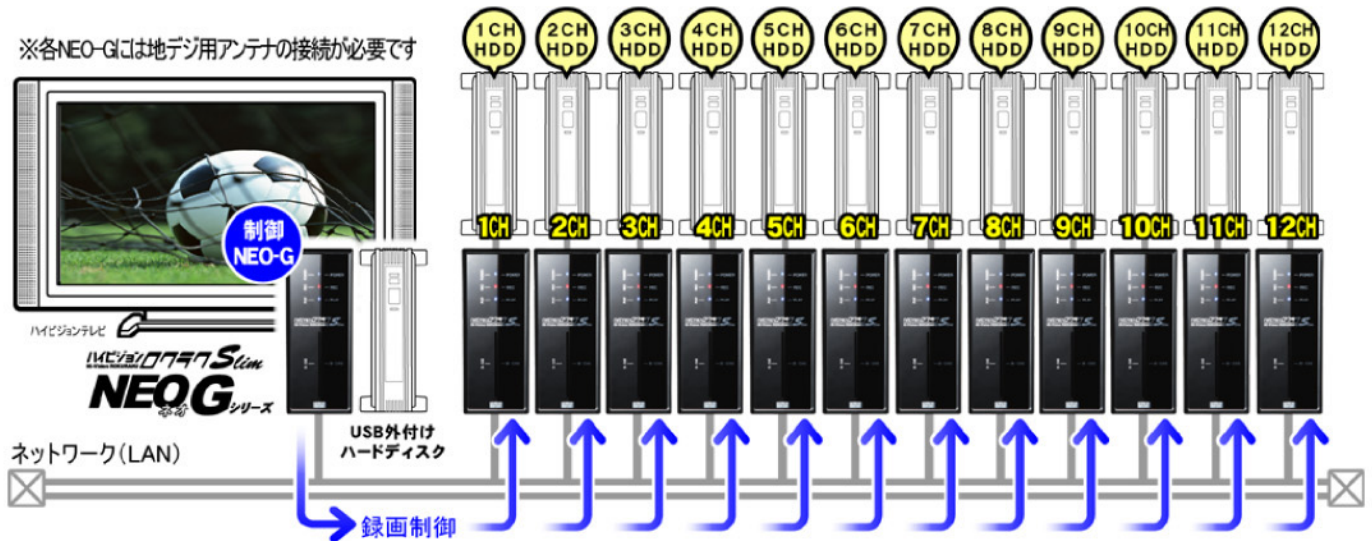
## G 1.1

## NEO-Gシリーズのグループ機能

### 地デジの全チャンネル録画が可能なGシリーズ

地デジの多チャンネル録画をグループ機能で実現・最大12チャンネルまで地デジを同時録画

NEO・Gシリーズは、NEOの全機能をそのまま継承して単体として地上波デジタルチューナー／レコーダとして動作するだけではなく、家庭内LANにより複数のNEO・Gが協調連動して、1台のNEO・Gから他の空いているNEO・Gにリモートで録画予約を指令でき、別々の部屋にあるNEO・Gが協調動作して多チャンネル同時録画を手軽に簡単に実現します。最大で12チャンネルまでの連動が可能（地デジチューナーの最大チャンネル割当数が12の為）で地デジ・ハイビジョン放送の全チャンネル同時録画が可能となります。しかも、全てのNEO・Gが平等にLAN上の空いている他のNEO・Gを協調利用できるのが特徴です。（グループ機能[1]協調同時録画機能）



さらに、NEO・Gでは、地デジ録画機としては初めてディスクの共有ができるようになりました（\*注1）。つまり、別の部屋のNEO・Gで録画したハードディスクでも、手元のNEO・Gにつないで直接再生ができるようになりました（\*注1）。（グループ機能[2]ディスク共有機能）そして、新たな便利機能として、ダビング10を使ってディスクを丸ごと自動的にコピーしてくれる新機能も加わりました。地デジの録画データは、データ量が多く、一つ一つのコピーで長時間待たされるのは実用上たいへん不便です。しかし、このミラーディスク機能なら電源オフのスタンバイ時に空いている時間を利用してマスターディスクとまったく同じミラーディスクをNEO・Gがこつこつと自動的にバックアップしてくれるためストレスのない本体機能の利用と意識しないバックアップが容易に可能です。（グループ機能[3]ミラーディスク機能）

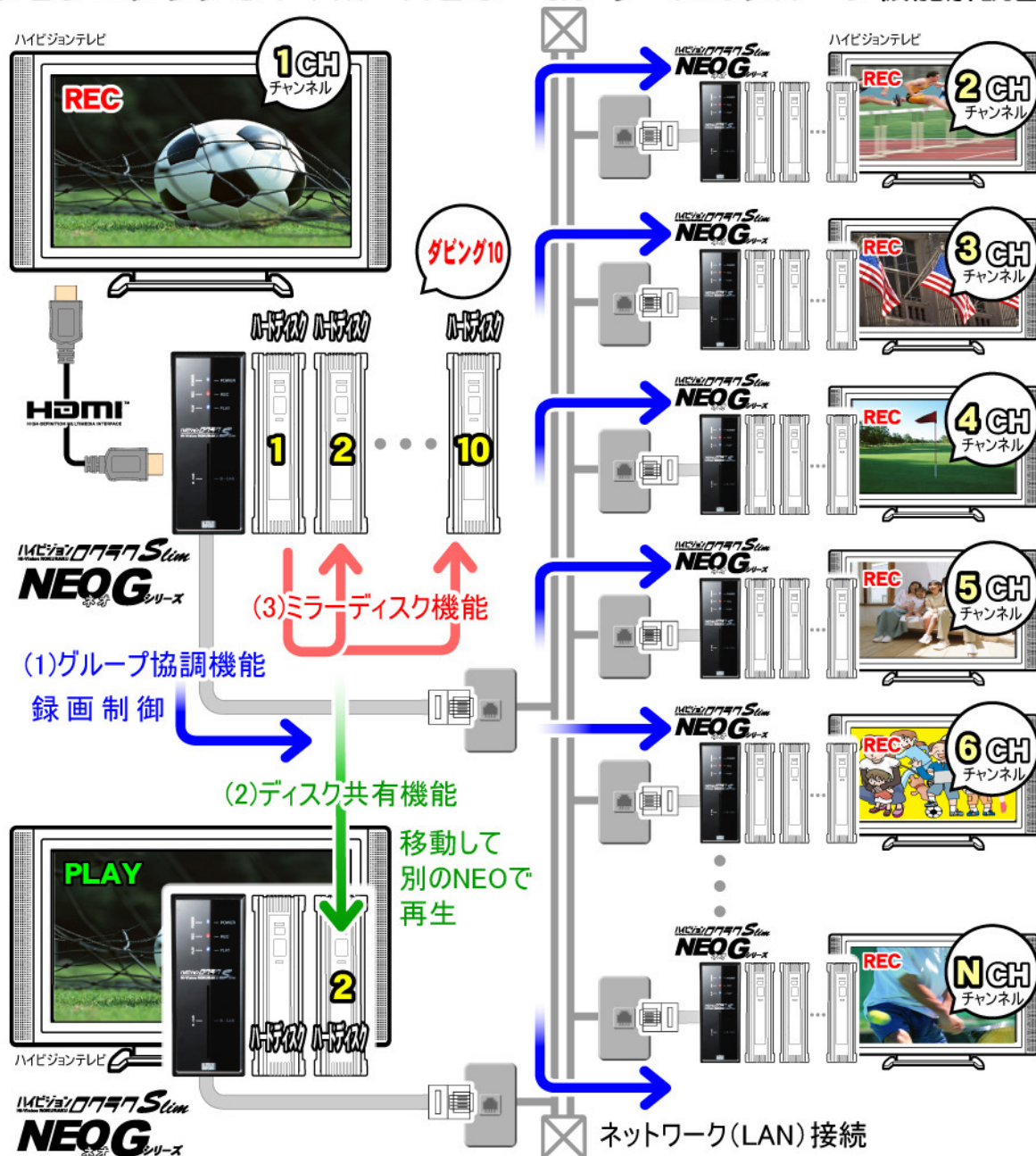
NEO・Gは、LANにより複数台のNEO・Gが協調する多チャンネル同時録画や録画ディスクの排他的共有、さらにはディスク丸ごとの自動バックアップ機能など3つの革新的な機能を搭載し、新しい地デジ録画機器のファミリーユースを可能にしました。

（\*注1）ディスク共有には録画した機器がLANに接続されている必要があり、再生は排他制御で同時には1台のみとなります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 1.2 NEO-Gシリーズのグループ機能

### ハイビジョンロクラクSlim・NEO-Gシリーズのグループ機能解説図



#### グループ機能(1)協調同時録画機能

1台1台独立して利用できるだけでなく、家庭内LAN接続で複数台のNEO・Gが連動します。1台のNEO・Gから他の空いているNEO・Gに録画予約を指令、別々の部屋にあるNEO・Gが協調動作して多チャンネル同時録画。最大12チャンネルまで可能なため地デジハイビジョンの全チャンネル録画が実現可能になりました。

#### グループ機能(2)ディスク共有機能

別のNEO・Gに指示して録画した番組をディスクごと移動させ手元のNEO・Gで再生が可能です。

#### グループ機能(3)ミラーディスク機能

ダビング10を使ってディスクを丸ごと自動的にコピーしてくれます。ミラー機能なら電源オフのスタンバイ時に空いている時間を利用してマスターディスクとまったく同じミラーディスクをNEO・Gがこつこつと差分をとり自動的にバックアップします。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

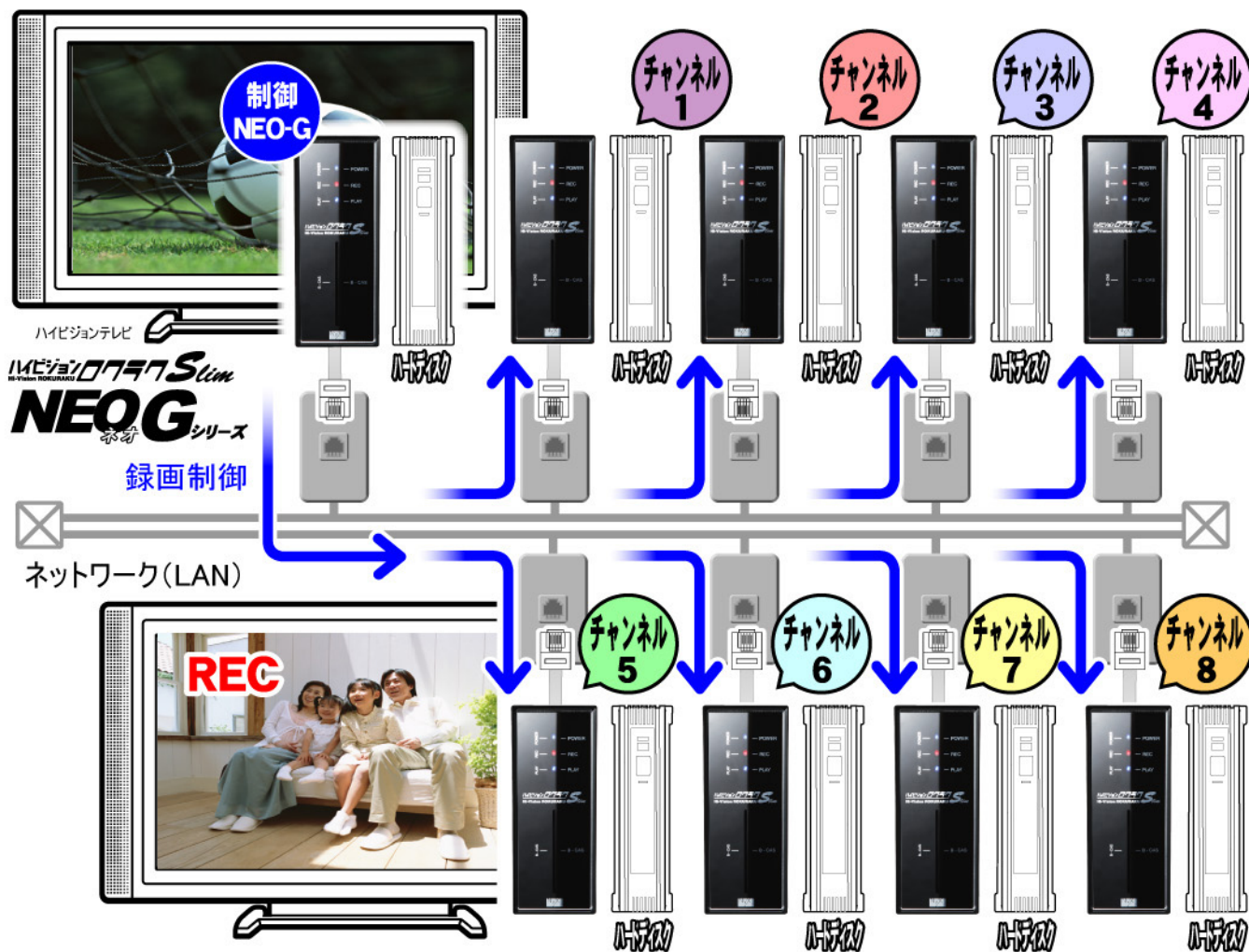
## G 2.1

## 協調同時録画機能

（グループ機能1）

### グループ機能（1）協調同時録画機能

多チャンネル同時録画を分散型のグループ協調機能で実現



「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」（ハイビジョンロクラク スリム ネオ ジーシリーズ）は、録画可能な地上波デジタルチューナーで業界初の地デジ録画機の「グループ機能」を搭載しました。このグループ機能によりNEO-Gを複数台グループ協調させることで、地デジの全チャンネル録画を簡単に実現できるようになりました。パソコンを使わないスタンドアロン型録画機として業界初の機能となります。しかも、NEOのグループ機能は、LANを使った協調機能のため、マスター・スレーブの関係は無く、全てのNEOがLAN上の空いている他のNEOを協調利用できるのも大きな特徴であり、例えば8台のNEO-Gを1人だけが占有して利用できるのではなく、8ユーザー全員が仮想的に全チャンネル（8ch:関東地域の場合のチャンネル数）録画機を並行して利用できるのが大きな特長で、家庭内の各部屋にNEO-Gを分散して設置し、単独の地デジチューナーとして使いながら、必要に応じてLANによって協調して仮想的な多チャンネル録画機として利用できるため物理的たいへんコンパクトで手軽にスッキリと活用できるのがポイントです。

なお、この多チャンネル同時録画は、最大で12チャンネル（地デジチューナーの最大チャンネル割当数が12のため）までの連動が可能で地デジ・ハイビジョン放送の全チャンネル録画が可能となります。

(\*1) USB2.0外付けハードディスクは、別途ご用意ください。(\*2) 全ての市販のUSBハードディスクやUSBスティックメモリに対して動作を保証するものではありません。購入に際しては、お客様の責任にてお願いします。(\*3) USBのパスパワー供給電流は規格により500mAとなっています。それ以上の電流を消費するハードディスクを接続した場合、正常に動作しないことがあります。

# レコーダ機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 2.2

## 協調同時録画機能

（グループ機能1）

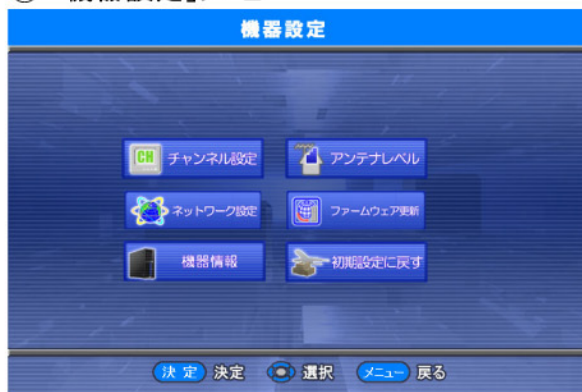
### ロクラクに名前（ホスト名）をつける

「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」のグループ機能は、ネットワークを使った協調機能の為、ネットワーク上で一意となる固有名称（ホスト名）を設定します。

#### ① トップメニュー画面



#### ② 「機器設定」メニュー



#### ③ 「ネットワーク設定」メニュー



#### ④ 「ホスト名」設定画面



#### トップメニューからのリモコン操作



協調同時録画機能（グループ機能1）を利用する為、NEO-Gに「名前（ホスト名）」を付けます。先ずリモコンのメニューキーを押してトップメニュー①に入ります。メニュー画面での基本的なリモコン操作は、カーソル上下左右キーで移動して、決定キーで選択をし、メニュー画面から抜ける場合メニューキーを押します。（メニュー画面では画面下段に、その画面で使用できるキーのガイド表示がありますので、ガイドに従って操作してください。）

トップメニュー画面①で、カーソルを移動して「機器設定」を選択し決定キーを押すと、「機器設定」画面②が表示されます。次に、機器設定メニュー画面②では、同様の操作で「ネットワーク設定」を選択し決定キーを押します。ネットワーク設定メニュー画面③では、同様の操作で「ホスト名」を選択し決定キーを押します。

「ホスト名」画面④では、ひらがな・カタカナ・英数字・記号・漢字を使ってお好みの名前を設定して下さい。「ホスト名」の設定に於いては、ご利用のネットワーク環境（LAN）内で判別可能となる一意の名称をお選び下さい。

ひらがな・カタカナ・英数字・記号・漢字の選択は、「文字切換え」を選択して「決定」キーを押す毎に順に切換え表示されます。ひらがな・カタカナ・英数字・記号・漢字の選択後、文字一覧より入力する文字を選んで「決定」キーで確定します。入力された文字を削除するには、「文字消去」を選択して「決定」キーを押します。全ての入力を完了（終了）するには、「入力終了」を選択して「決定」キーを押します。

# レコーダ機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバスルー・双向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 2.3

## 協調同時録画機能

（グループ機能1）

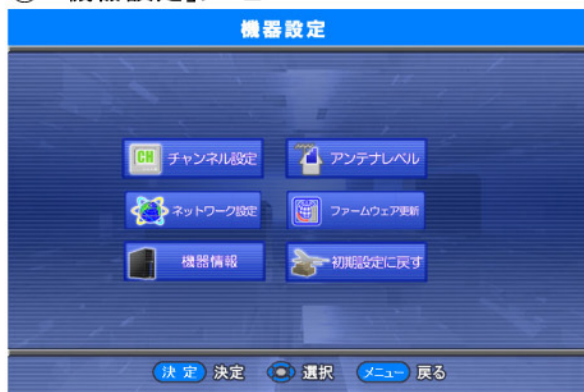
### ネット上に接続されているロクラクのホスト一覧を確認

ネットワーク上に接続されている「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」を確認する為に、ホスト名の一覧表示をご利用ください。但し、操作されている本機のホスト名は表示されません（協調制御可能なロクラクのホスト名が表示されます）。

#### ① トップメニュー画面



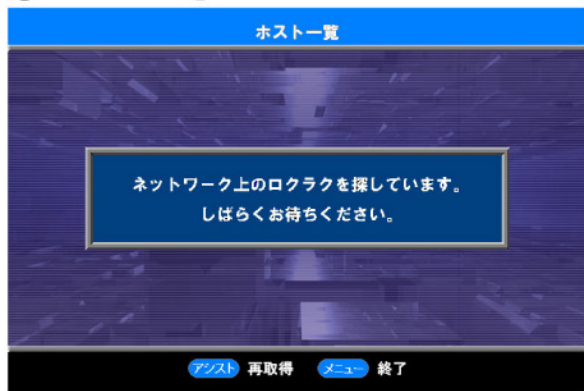
#### ② 「機器設定」メニュー



#### ③ 「ネットワーク設定」メニュー



#### ④ 「ホスト一覧」取得開始画面



#### ⑤ 「ホスト一覧」画面



#### トップメニューからのリモコン操作



ネットワーク上に接続されているNEO-Gの「名前(ホスト名)」を一覧表示します。先ずリモコンのメニューキーを押してトップメニュー①に入ります。メニュー画面での基本的なリモコン操作は、カーソル上下左右キーで移動して、決定キーで選択をし、メニュー画面から抜ける場合メニューキーを押します。(メニュー画面では画面下段に、その画面で使用できるキーのガイド表示がありますので、ガイドに従って操作してください。)

トップメニュー画面①で、カーソルを移動して「機器設定」を選択し決定キーを押すと、「機器設定」画面②が表示されます。次に、機器設定メニュー画面②では、同様の操作で「ネットワーク設定」を選択し決定キーを押します。ネットワーク設定メニュー画面③では、同様の操作で「ホスト一覧」を選択し決定キーを押します。「ホスト一覧」取得画面④でネットワークに接続するNEO-Gのホスト名を収集し、「ホスト一覧」画面⑤に表示します。

# レコーダ機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバススルー・双向向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 2.4

## 協調同時録画機能

（グループ機能1）

### ネット上に接続されているロクラクへの録画予約

ネットワーク上に接続されている「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」に対して、録画予約を行います。

### メインメニューから番組表を表示する

① トップメニュー画面



② 「番組表」メニュー



#### トップメニューからのリモコン操作



先ずリモコンのメニューキーを押してトップメニュー①に入ります。メニュー画面での基本的なリモコン操作は、カーソル上下左右キーで移動して、決定キーで選択をし、メニュー画面から抜ける場合メニューキーを押します。（メニュー画面では画面下段に、その画面で使用できるキーのガイド表示がありますので、ガイドに従って操作してください。）

トップメニュー画面①で、カーソルを移動して「番組表」を選択し決定キーを押すと、「番組表」画面②が表示されます。

「番組表」画面②で、「新聞欄タイプ」あるいは「リストタイプ」を選択して決定キーを押すと、「番組表」画面が表示されます。表示された「番組表」画面で、カーソルキーで移動して、決定キーで番組を選択します。選択された番組が放送前の番組の場合、本機のディスク又はネットワーク上の他のNEO-Gに「録画予約」設定することができます。

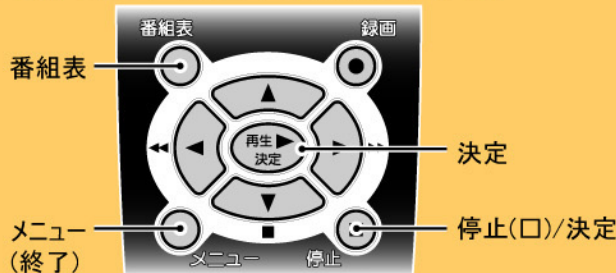
### リモコンの番組表キーから番組表を表示する

リモコンの番組表キーを押して「電子番組表」画面を表示し、カーソルキーで移動して、決定キーで番組を選択します。選択された番組が放送前の番組の場合、本機のディスク又はネットワーク上の他のNEO-Gに「録画予約」設定することができます。



#### 録画予約におけるリモコン操作

番組表画面で決定キーを押すと録画予約画面が表示されるので録画予約を選択できます。



# レコーダ機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバスルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 2.5

## 協調同時録画機能

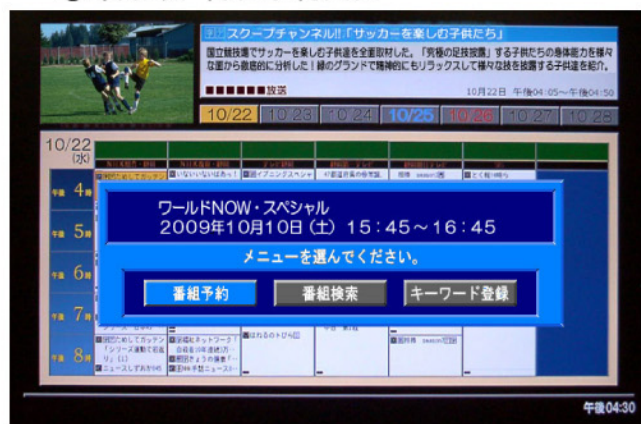
（グループ機能1）

### ネット上に接続されているロクラクへの録画予約

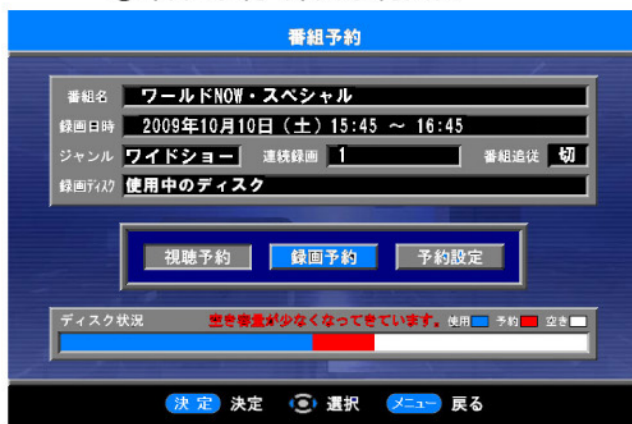
ネットワーク上に接続されている「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」に対して、録画予約を行います。

### 番組表から録画するタイトルを選んで録画予約する

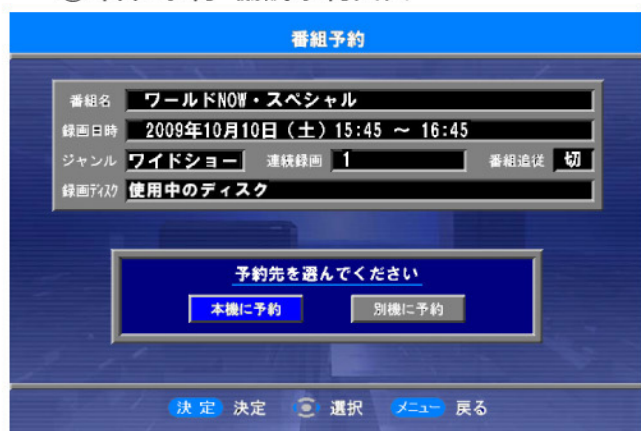
① 番組表・番組予約画面



② 番組予約・録画予約画面

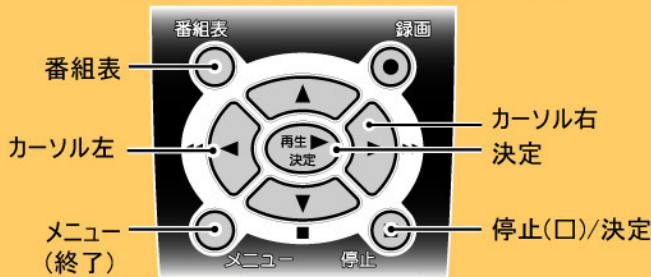


③ 番組予約・協調予約画面



#### 録画予約におけるリモコン操作

番組表画面で決定キーを押すと選択メニューが表示されるので番組予約を選択し、録画予約します。



「電子番組表」画面で録画する番組を選んで、決定キーを押すと「番組予約」「番組検索」「キーワード登録」を選択するメニュー①が表示されます。「電子番組表」画面①で「番組予約」を選択し、決定キーを押すと番組予約画面②が表示されます。番組予約画面②の「視聴予約」「録画予約」「予約設定」から、「録画予約」を選択して決定キーを押すと、番組予約画面③が表示されます。

番組予約画面③で、「本機に予約」を選択し決定キーを押すと、本機に接続されたハードディスクに予約された番組が録画されます。「別機に予約」を選択し決定キーを押すと、ネットワーク(LAN)上に接続されている別機NEO-Gの一覧が表示され、録画するNEO-Gを選んで「録画予約」設定することができます。



# 再生機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

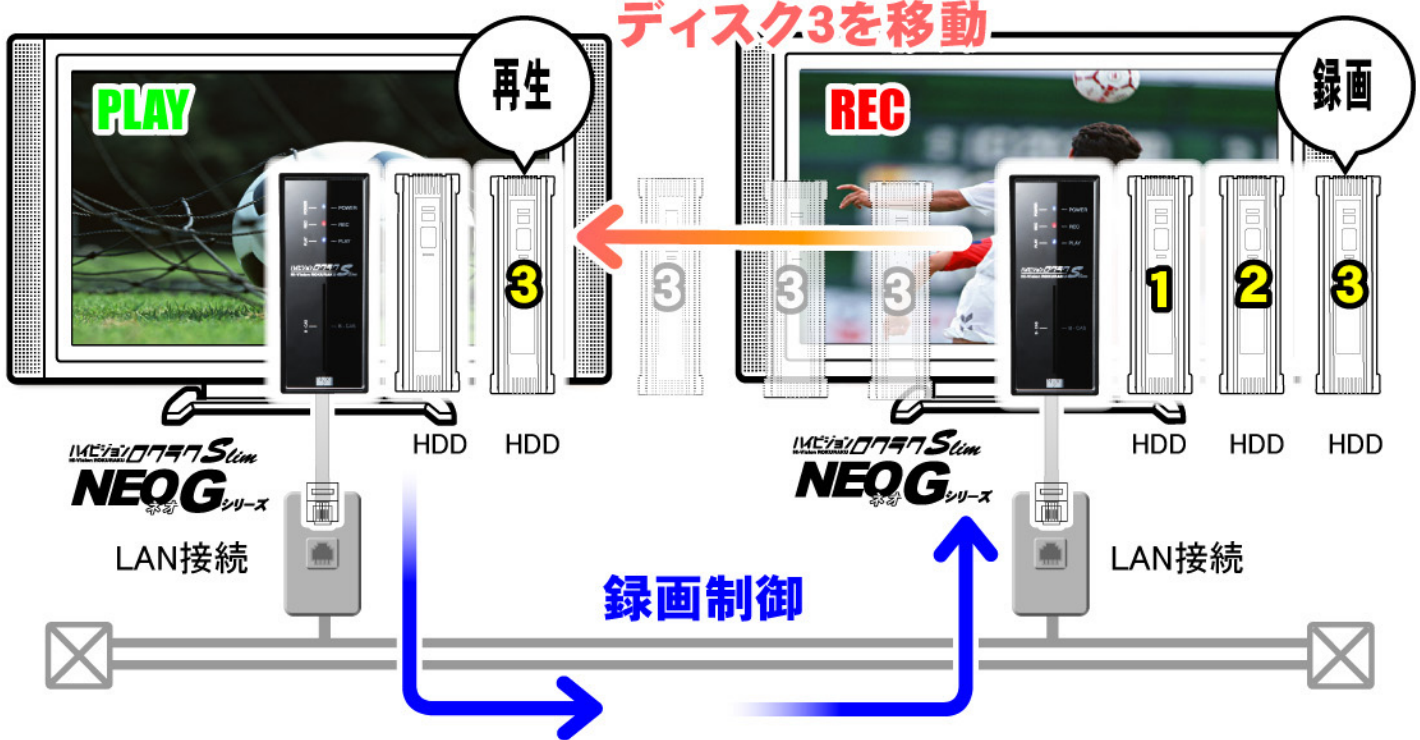
## G 3.1

## ディスク共有機能

（グループ機能2）

### グループ機能（2）ディスク共有機能

### グループ・共有機能で録画ディスクを共有



「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」（ハイビジョンロクラク スリム ネオ ジーシリーズ）は、「グループ・ディスク共有機能」を実装し、ネットワーク（家庭内LAN）で鍵交換することで、NEO-G(A)で録画したディスクを、もう1台の別のNEO-G(B)で再生できるようになります。

さらに、複数台のNEO-GのLANによる「グループ・協調機能」で、他のNEO-Gに指示して録画した番組は、ディスクをそのまま移動して自身で再生（グループ・ディスク共有機能）することができます。

(\*1) ディスク共有には録画した機器がLANに接続されている必要があり、再生は排他制御で同時には1台のみです。詳しくは、①録画したNEO-G(A)と、再生するNEO-G(B)、NEO-G(C)がある場合②NEO-G(B)へNEO-G(A)のディスクを接続時、LAN上にNEO-G(A)があればNEO-G(B)はディスクを再生可能③この②状態では、NEO-G(B)が再生中か否かに関らず、NEO-G(A)は自身のディスクの再生不可④この②状態では、NEO-G(C)はNEO-G(A)のディスクを接続しても認識されない。

(\*2) USB2.0外付けハードディスクは、別途ご用意ください。(\*3) 全ての市販のUSBハードディスクやUSBスティックメモリに対して動作を保証するものではありません。購入に際しては、お客様の責任にてお願いします。(\*4) USBのパスパワー供給電流は規格により500mAとなっています。それ以上の電流を消費するハードディスクを接続した場合、正常に動作しないことがあります。

# 再生機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 3.2

## ディスク共有機能 (グループ機能2)

### 別機で録画したデータを再生する

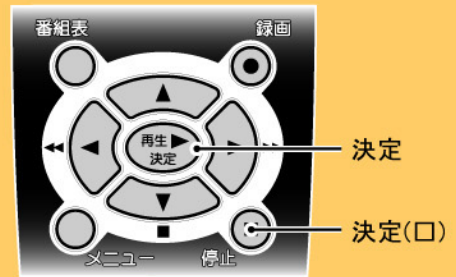
他の「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」で録画したUSBディスクを、そのまま移動して本機に接続して再生します。この時、本機と録画したNEO-Gの双方が、ネットワーク上に接続されお互いに認識されている必要があります。

### 別機で録画したディスク (データ) を接続する



#### 確認及び警告表示

リモコンの決定キーを押すと確認画面は消えます。



別機のNEO-Gで録画したUSB外付けハードディスクを、移動して本機に接続する場合、録画した別機と再生する本機が共にネットワーク(LAN)上に接続されている事が必要です。再生する本機あるいは録画した別機、または双方がネットワーク上で見つからない場合、画面には上記の警告が表示されます。

また、複数のUSBディスクを接続すると、テレビ画面の下辺に接続されたディスク分のアイコン(ディスク+番号の画像)が表示されます。接続されたディスクが表示されない場合、ディスクが正常に認識されていない可能性があります。



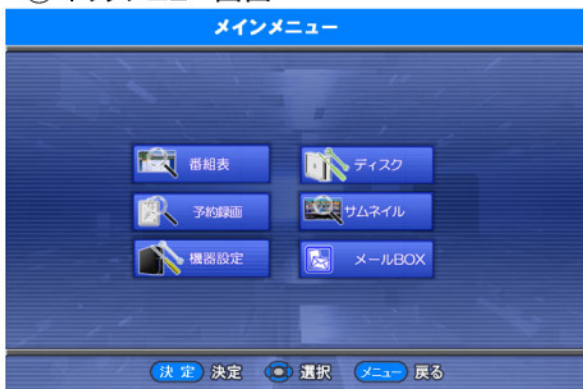
#### トップメニューからのリモコン操作

カーソル上下左右キーで移動して、決定キーで選択をし、メニュー画面から抜ける場合メニューキーを押します。

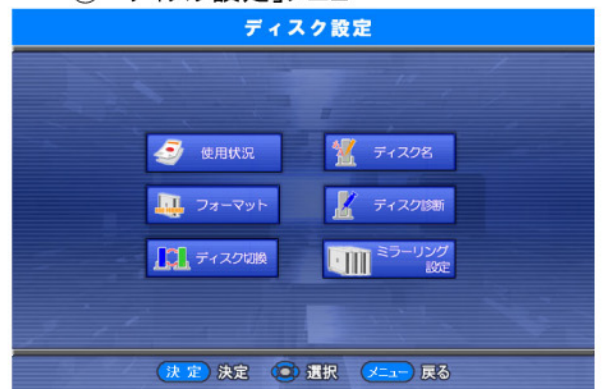


複数のUSBディスクを接続している場合、再生するUSBディスクを選択します。先ずリモコンのメニューキーを押しトップメニュー①に入り、カーソルを移動して「ディスク」を選択し決定キーを押すと、「ディスク設定」画面②が表示されます。ディスク設定画面②の「ディスク切替」により、再生するディスクを選択します。

#### ① トップメニュー画面



#### ② 「ディスク設定」メニュー



# 再生機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 3.3

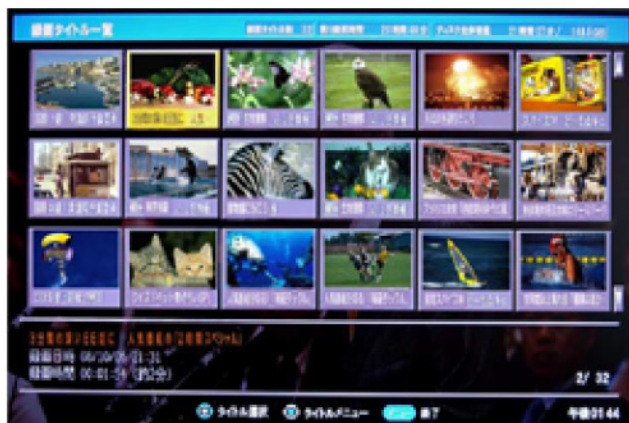
## ディスク共有機能 (グループ機能2)

### 別機で録画したデータを再生する

他の「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」で録画したUSBディスクを、そのまま移動して本機に接続して再生します。この時、本機と録画したNEO-Gの双方が、ネットワーク上に接続されお互いに認識されている必要があります。

### サムネイル画面を表示する

再生する本機に接続したUSB外付けハードディスクが認識された場合（再生する本機と録画した別機が共にネットワーク上で認識されている）、チューナー映像視聴画面の状態決定キーを押すとサムネイル画面が表示されます。



#### サムネイル画面を表示します

チューナー映像視聴画面状態で、決定キーを押すとサムネイル画面が表示されます。



決定 (サムネイル)

(\*1) 録画ファイルがない場合、静止画欄に「No Title」と表示されます。(\*2)サムネイル画面は、チューナー視聴画面でリモコンのメニューキーを押して、トップメニューから「サムネイル」を選択・決定しても入る事ができます。

### サムネイル画面のファイル操作メニューを表示する



#### サムネイル・ファイル操作メニューのリモコン操作

リモコンのカーソルキーで移動し、決定キーで選択した録画ファイルの各種操作を指定します。



決定 (ファイル操作)

メニュー (終了) 決定(口)

サムネイル画面で選択する録画ファイルにカーソルキーで移動して、決定キーを押します。サムネイル画面下部に、「詳細情報」・「再生」・「設定」メニューが表示されるので、実行したい操作をカーソルキーで選択して決定キーを押します（「再生」を選んで決定キーを押して、録画データを再生します）。

#### サムネイルファイル操作メニュー

指定する録画ファイルの詳細情報を表示

メニューを選んでください



指定する録画ファイルを再生する

18画面→24画面切替、ディスク認識時の自動サムネイル画面表示設定(初期値「切」)など

# レコーダ機能の利用方法

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

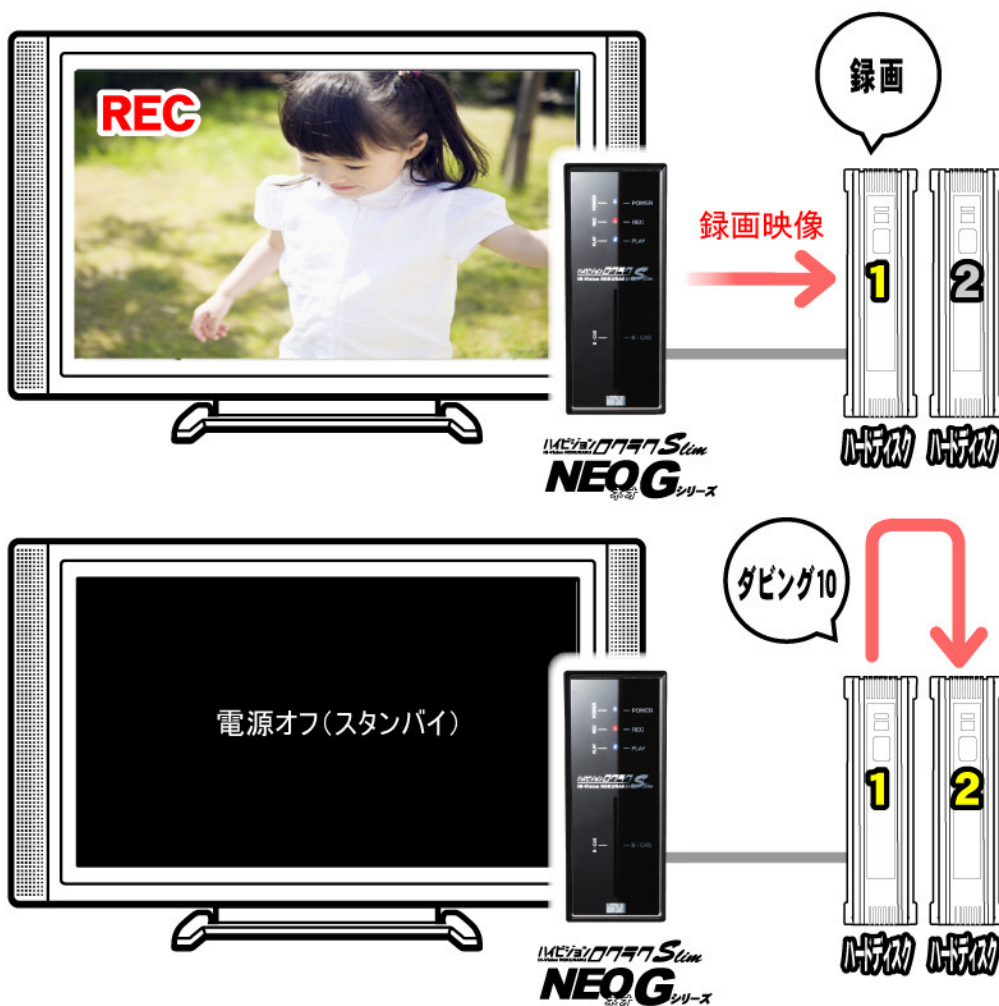
## G 4.1

## ミラーディスク機能

（グループ機能3）

### グループ機能（3）ミラーディスク機能

### ミラーリングディスク機能で自動バックアップ



「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」（ハイビジョンロクラク スリム ネオ ジーシリーズ）は、複数ディスクを同時接続できるNEOの特長を生かし、ダビング10によってマスターディスクに録画した番組を、自動的にバックアップディスクにコピーしてくれる「グループ・ミラーリング機能」を搭載しています。

地デジの録画データはデータ量が多く1つ1つのコピーで長い時間待たされるのは実用上たいへん不便です。しかしこのミラーディスク機能なら電源オフのスタンバイ時に空いている時間を利用してマスターディスクとまったく同じミラーディスクをNEO-Gがこつこつと自動的にバックアップしてくれるためストレスのない本体機能の利用と意識しないバックアップが容易に可能です。

(\*1) USB2.0外付けハードディスクは、別途ご用意ください。(\*2) 全ての市販のUSBハードディスクやUSBスティックメモリに対して動作を保証するものではありません。購入に際しては、お客様の責任にてお願いします。

(\*3) USBのパスパワー供給電流は規格により500mAとなっています。それ以上の電流を消費するハードディスクを接続した場合、正常に動作しないことがあります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 4.2

## ミラーディスク機能

（グループ機能3）

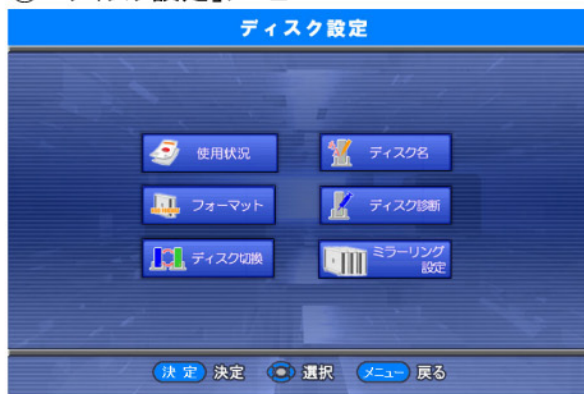
### ミラーリング設定画面を開く

「ハイビジョンロクラク Slim・NEO-G」のミラーリング機能は、複数台のUSB外付けディスクが接続されている場合に有効となります（複数台のディスクが接続されていない場合、「ミラーリング設定」メニューは表示されません）。

#### ① トップメニュー画面



#### ② 「ディスク設定」メニュー



ミラーディスク機能（グループ機能3）を利用する為には、NEO-Gに複数台のUSB外付けディスクを接続します。先ずリモコンのメニューキーを押しトップメニュー①に入ります。メニュー画面での基本的なリモコン操作は、カーソル上下左右キーで移動して、決定キーで選択をし、メニュー画面から抜ける場合メニューキーを押します。（メニュー画面では画面下段に、その画面で使用できるキーのガイド表示がありますので、ガイドに従って操作してください。）トップメニュー画面①で、カーソルを移動して「ディスク」を選択し決定キーを押すと、「ディスク設定」画面②が表示されます。次に、ディスク設定メニュー画面②で、同様の操作で「ミラーリング設定」を選択し決定キーを押すと、ミラーリング設定画面③が表示されます。

#### ③ 「ミラーリング設定」メニュー



#### トップメニューからのリモコン操作



ミラーリング設定画面③で、「ミラーリング元ディスク設定」、「ミラーリング先ディスク設定」、「ミラーリング開始」を順に選択して設定することにより、ミラーリング機能を設定できます。

「ミラーリング元ディスク設定」には、マスターディスク（オリジナル）を設定します。「ミラーリング先ディスク設定」には、バックアップ先となるディスクを設定します。「ミラーリング元ディスク設定」と「ミラーリング先ディスク設定」の各々のディスクが設定されたなら、「ミラーリング開始」を行います。

（注1）「ミラーリング先ディスク」の残り容量が、「ミラーリング元ディスク」の録画容量以上でない場合、バックアップできないデータが生じます。

（注2）「ミラーリング先ディスク」の残りタイトル数が、「ミラーリング元ディスク」の録画タイトル数以上でない場合、バックアップできないデータが生じます。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバスルー・双向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 4.3

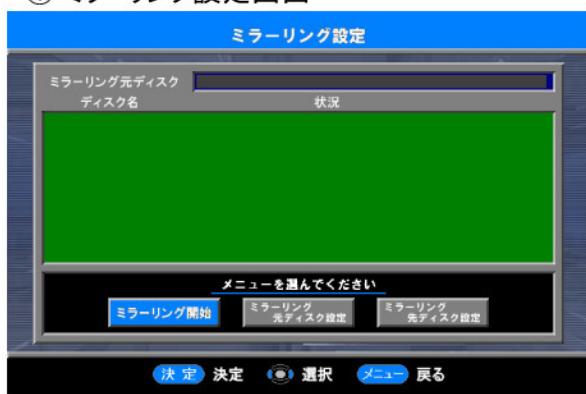
## ミラーディスク機能

（グループ機能3）

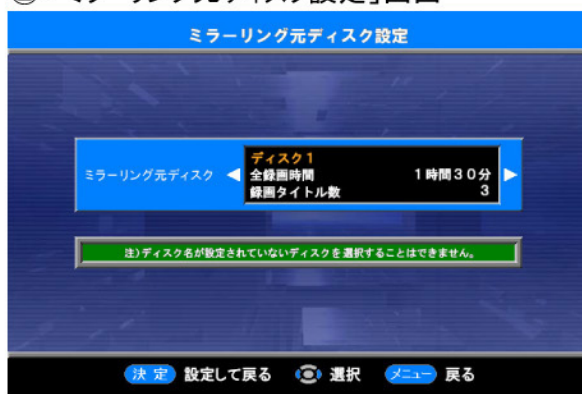
### ミラーリング元ディスクを設定する

ミラーリング設定画面①で、「ミラーリング元ディスク設定」を選択して決定キーを押す。「ミラーリング元ディスク設定」画面②でマスターディスクを選択設定します。

#### ① ミラーリング設定画面



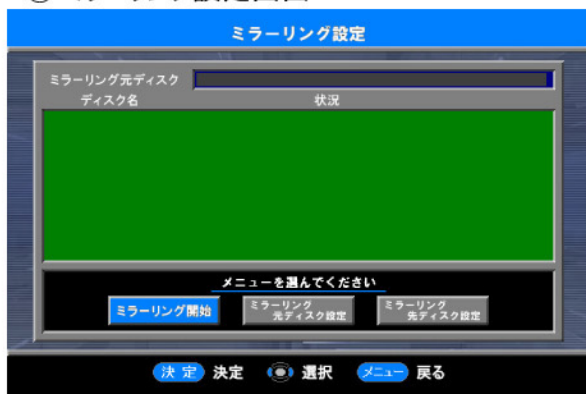
#### ② 「ミラーリング元ディスク設定」画面



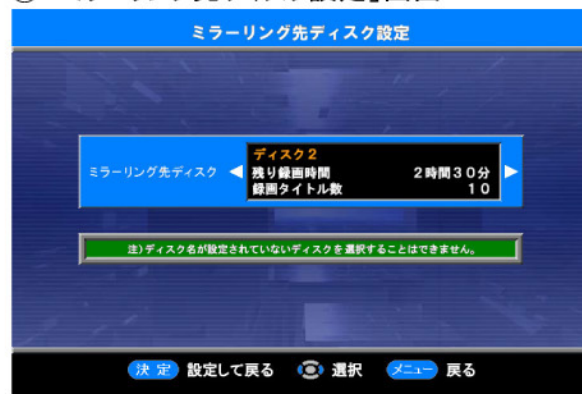
### ミラーリング先ディスクを設定する

ミラーリング設定画面①で、「ミラーリング先ディスク設定」を選択して決定キーを押す。「ミラーリング先ディスク設定」画面②でバックアップディスクを選択設定します。

#### ① ミラーリング設定画面



#### ② 「ミラーリング先ディスク設定」画面



### ミラーリング開始を設定する

#### ① ミラーリング設定画面



ミラーリング設定画面①で、「ミラーリング開始」を選択して決定キーを押すと、「ミラーリング機能は待機状態にて動作します。待機状態に移行して、よろしいですか?」と確認メッセージが表示されます。「はい」を選択(決定キーを押す)すると、NEO-Gはすぐに待機状態(電源オフ)に移行しミラーリングを開始します。「いいえ」を選択(メニューキーを押す)すると、次に待機状態(電源オフ)に移行するまでミラーリングの実行は保留状態となります。

なお、「ミラーリング開始」は、ミラーリング元ディスク及びミラーリング先ディスクの設定に誤りの無いことを確認の上実行して下さい。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## G 4.4

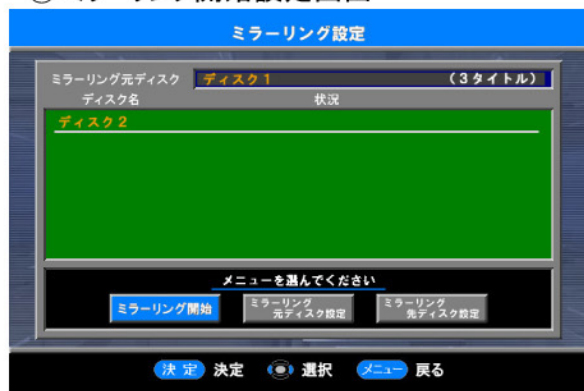
## ミラーディスク機能

（グループ機能3）

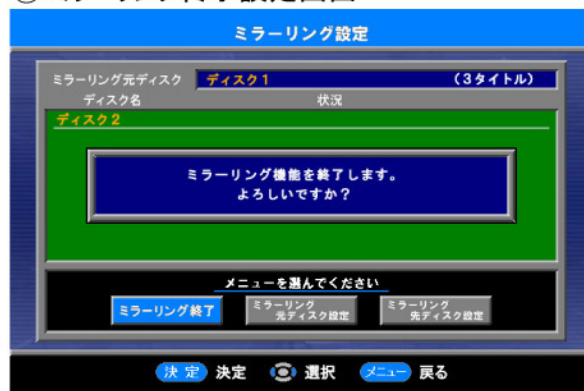
### ミラーリングを終了する

ミラーリング設定画面①で、「ミラーリング開始」を選択して決定キーを押すと、ミラーリング設定画面①の「ミラーリング開始」は「ミラーリング終了」に切り換ります。

#### ① ミラーリング開始設定画面



#### ② ミラーリング終了設定画面



#### ミラーリング設定画面のリモコン操作



ミラーリング設定画面②で、「ミラーリング終了」を選択して決定キーを押すと、「ミラーリング終了の確認メッセージ」が表示されます。